

# がん対策事業の推進状況について

(平成27年度, 28年度予算について)

# 【平成27年度事業】

## 1 がん克服総合推進事業 【健康増進課所管】

12,676 千円（国庫 3,841 千円， 一般 8,835 千円）

がん予防の推進やがん医療の均てん化とがんの早期発見・早期治療の促進を図ることによって、がん死亡の減少を目指す。

### （事業内容）

#### 1 がん対策の総合的推進 329 千円（国庫 164 千円， 一般 165 千円）

「鹿児島県がん対策推進協議会」の開催  
本県のがんの総合的対策やがん対策推進計画等について、専門家・有識者等からなる協議会で協議し、方策を検討する。

#### 2 がん予防の普及啓発 720 千円（国庫 360 千円， 一般 360 千円）

がん予防の周知事業（一部委託）  
電波媒体や紙媒体等を活用し、幅広い年代への普及啓発を図る。

#### 3 がんの早期発見・早期治療体制の充実 2,314 千円（国庫 1,002 千円， 一般 1,312 千円）

がん検診の均てん化・精度管理の充実  
(1)がん検診均てん化研修会（委託）  
がん検診に従事する医師，放射線技師等を対象とする研修会を実施した。  
(2)がん検診追跡結果等評価事業  
市町村のがん検診や精度管理調査の結果から，検診の精度や方法等を7がん部会等で評価する。

#### 4 がん治療・検診の情報基盤整備 5,434 千円（国庫 360 千円， 一般 5,074 千円）

- (1) がん登録100%推進事業  
がん登録について医療機関に啓発・支援を行うことにより，地域がん登録を推進し，がん対策の向上を図る。  
また，全国がん登録の開始に向けて，医療機関向け説明会等による普及啓発，説明を行った。
- (2) がん登録評価事業  
地域がん登録から得たデータを基に，県内・地域のがんの実態を把握・分析することで，県の実情に即した対策を推進する。  
ア 地域がん登録  
（公財）県民総合保健センターへ委託し，がん発生届出，死亡届出の登録・集計を行う。  
イ がん登録評価部会の開催（平成27年12月16日開催）

#### 5 死亡率高位がん対策 1,347 千円 （国庫 690 千円， 一般 657 千円）

- (1) 全国に比べて死亡率の高いがん対策  
① 県HTLV-1対策協議会の開催（年2回）  
② HTLV-1対策推進事業  
ア HTLV-1対策の普及啓発  
・県民向け講演会の開催



- ・医療従事者等向け講習会の開催
- ・リーフレットの作成
- イ 抗体陽性妊産婦への支援対策
  - ・産科医療機関から保健所等への検査結果の情報提供による連携及び保健所による支援体制の充実・強化
  - ・産科医療機関へのアンケート調査の実施
- ウ 保健所における無料抗体検査の実施

#### 6 女性の健康支援セミナー 502 千円（国庫 251 千円，一般 251 千円）

女性のライフサイクルに伴う心身の変化，更年期障害，骨粗鬆症など女性特有の病気等に関する知識の普及啓発及び乳がん・子宮頸がんの検診受診促進を行うため，女性向けのセミナーを開催し，専門家による講演，健康チェック，健康相談を実施する。

#### 7 女性特有の疾患普及啓発 1,455 千円（国庫 727 千円，一般 728 千円）

女性の身体は，男性と異なりライフサイクルとともに大きく変化するため，女性自身が適切に対応できるよう，女性特有の疾患に関する普及啓発を行う。

- ・乳がんに関する普及啓発
- ・子宮がんに関する普及啓発

#### 8 がん患者相談支援体制の整備 575 千円（国庫 287 千円，一般 288 千円）

がん患者の多くが，がん診療や療養への不安を抱えていることから，専門家による講話や患者同士の交流により，不安を軽減し，がん患者やその家族が安心して生活できるよう，相談支援及び情報提供を行った。

- ・がん患者，家族を対象とした講演会及び相談会の開催

### 2 がん医療提供体制緊急整備事業 【健康増進課所管】

48,000 千円（国庫 24,000 千円，一般 24,000 千円）

本県のがん医療提供体制における重点事項について，早急に整備を行い，以てがん患者を含む県民の視点に立った効率的ながん対策の推進を図るため，地域がん診療連携拠点病院等の整備に要する経費の補助を行った。

- (H27実績) ・地域がん診療連携拠点病院  
 3 箇所（済生会川内病院，鹿児島市立病院，今給黎総合病院）
- ・特定領域がん診療連携拠点病院  
 1 箇所（相良病院）
  - ・地域がん診療病院  
 1 箇所（出水郡医師会広域医療センター）

### 3 肺がん早期発見促進事業 【健康増進課所管】

42,004 千円（国庫 0 千円，一般 0 千円，特定財源 42,004 千円）

肺がんは全がん死亡の第一位で，死亡率も増加傾向にあることから，低線量CT肺がん検診を活用したがんの早期発見・早期治療を促進することで死亡数の減少を図る。

- (1) 低線量CTによる肺がん検診推進事業
  - ・50才以上の県民，5,500人を対象に，7,350円を助成する。
- (2) 低線量CT肺がん検診周知事業
  - ・ポスター・チラシによる周知
- (3) 低線量CT検診結果追跡事業
  - ・検診データ処理及び解析補助を行う。

#### 4 がん検診車整備費補助事業 【健康増進課所管】

25,000 千円（国庫 0 千円，一般 0 千円，特定財源 25,000 千円）

市町村が行う集団検診に使用されるがん検診車を整備する検診機関に対する整備費用の補助を行う。

#### 5 がん診療施設設備整備事業 【健康増進課所管】

34,033 千円（国庫 0 千円，特定 34,033 千円）

がんの診断，治療を行うがん診療連携拠点病院等の設備整備に対し，補助を行う。

医療機関名	補助対象機器	交付決定額
今給黎総合病院	一般撮影 FPD システム	8,568,000 円
相良病院	超音波画像診断装置	10,800,000 円
出水郡医師会広域医療センター	画像解析ワークステーション	7,920,000 円
田上病院	超音波診断装置	2,664,000 円
計		29,952,000 円

#### 6 がん医療地域連携推進事業 【健康増進課所管】

15,255 千円（国庫 0 千円，一般 0 千円，特定財源 15,255 千円）

鹿児島大学病院が行う地域におけるがん診療連携体制の構築に向けた取組に対し，補助を行う。

#### 7 粒子線乳がん研究支援事業 【地域医療整備課所管】

115,200 千円（国庫 104,194 千円，一般 11,006 千円）

がん医療水準の向上を図り，本県のがん対策を推進するため，身体的，精神的負担の少ない高度先進医療である粒子線治療による乳がん治療の研究を支援する。

#### 8 粒子線がん治療費利子補給事業 【地域医療整備課所管】

613 千円（一般 613 千円）

がん粒子線治療研究センターで治療を受けるために金融機関から治療費を借り受けた患者等の借り入れの利子分を助成する。

#### 9 たばこ対策促進事業 【薬務課所管】

208 千円（国庫 104 千円，一般 104 千円）

県薬剤師会に委託し，主に中学生を対象にたばこの健康への影響に関する知識についての教育授業を実施する。

# 【平成28年度事業】

## 1 がん克服総合推進事業 【健康増進課所管】

13,010 千円（国庫 4,022 千円， 一般 8,988 千円）

がん予防の推進やがん医療の均てん化とがんの早期発見・早期治療の促進を図ることによって、がん死亡の減少を目指す。

### （事業内容）

#### 1 がん対策の総合的推進 328 千円（国庫 164 千円， 一般 164 千円）

「鹿児島県がん対策推進協議会」の開催  
本県のがんの総合的対策やがん対策推進計画等について、専門家・有識者等からなる協議会で協議し、方策を検討する。

#### 2 がん予防の普及啓発 720 千円（国庫 360 千円， 一般 360 千円）

がん予防の周知事業（一部委託）  
電波媒体や紙媒体等を活用し、幅広い年代への普及啓発を図る。

#### 3 がんの早期発見・早期治療体制の充実 2,316 千円（国庫 1,003 千円， 一般 1,313 千円）

がん検診の均てん化・精度管理の充実

- (1) がん検診均てん化研修会（委託）  
がん検診に従事する医師，放射線技師等を対象とする研修会を実施した。
- (2) がん検診追跡結果等評価事業  
市町村のがん検診や精度管理調査の結果から，検診の精度や方法等を7がん部会等で評価する。

#### 4 がん治療・検診の情報基盤整備 5,699 千円（国庫 527 千円， 一般 5,172 千円）

- (1) がん登録100%推進事業  
全国がん登録の推進にあたり，医療機関への普及啓発，指導助言を行う。
- (2) がん登録評価事業  
がん登録から得たデータを基に，県内のがんの実態を把握・分析することで，県の実情に即した対策を推進する。  
ア 全国がん登録における事務の委託  
（公財）県民総合保健センターへ委託し，医療機関から送付された全国がん登録届出票のシステムへの登録及び照合を行う。  
イ がん登録評価部会の開催

#### 5 死亡率高位がん対策 1,347 千円（国庫 699 千円， 一般 648 千円）

- (1) 全国に比べて死亡率の高いがん対策
  - ① 県HTLV-1対策協議会の開催（年2回）
  - ② HTLV-1対策推進事業
    - ア HTLV-1対策の普及啓発
      - ・県民向け講演会の開催
      - ・医療従事者等向け講習会の開催
      - ・リーフレットの作成
    - イ 抗体陽性妊産婦への支援対策
      - ・産科医療機関から保健所等への検査結果の情報提供による連携及び保健所



- による支援体制の充実・強化
- ・産科医療機関へのアンケート調査の実施
- ウ 保健所における無料抗体検査の実施

#### 6 女性の健康支援セミナー 503 千円（国庫 252 千円，一般 251 千円）

女性のライフサイクルに伴う心身の変化，更年期障害，骨粗鬆症など女性特有の病気等に関する知識の普及啓発及び乳がん・子宮頸がんの検診受診促進を行うため，女性向けのセミナーを開催し，専門家による講演，健康チェック，健康相談を実施する。

#### 7 女性特有の疾患普及啓発 1,455 千円（国庫 727 千円，一般 728 千円）

女性の身体は，男性と異なりライフサイクルとともに大きく変化するため，女性自身が適切に対応できるよう，女性特有の疾患に関する普及啓発を行う。

- ・乳がんに関する普及啓発
- ・子宮がんに関する普及啓発

#### 8 がん患者相談支援体制の整備 581 千円（国庫 290 千円，一般 291 千円）

がん患者の多くが，がん診療や療養への不安を抱えていることから，専門家による講話や患者同士の交流により，不安を軽減し，がん患者やその家族が安心して生活できるよう，相談支援及び情報提供を行った。

- ・がん患者，家族を対象とした講演会及び相談会の開催

#### 9 がん医療の地域連携体制整備 60 千円（国庫 0 千円，一般 60 千円）

鹿児島大学が作成した7つのがんを対象とした地域連携クリティカルパスの活用によるがん診療連携拠点病院等と地域の医療機関等との機能分化や連携強化を図るための課題・方策を検討する検討会を開催する。

### 2 がん医療提供体制緊急整備事業 【健康増進課所管】

42,000 千円（国庫 21,000 千円，一般 21,000 千円）

本県のがん医療提供体制における重点事項について，早急に整備を行い，以てがん患者を含む県民の視点に立った効率的ながん対策の推進を図るため，地域がん診療連携拠点病院等の整備に要する経費の補助を行う。

### 3 肺がん早期発見促進事業 【健康増進課所管】

38,330 千円（国庫 0 千円，一般 0 千円，特定財源 38,330 千円）

肺がんは全がん死亡の第一位で，死亡率も増加傾向にあることから，低線量CT肺がん検診を活用したがんの早期発見・早期治療を促進することで死亡数の減少を図る。

- (1) 低線量CTによる肺がん検診推進事業
  - ・50才以上の県民，5,000人を対象に，7,350円を助成する。
- (2) 低線量CT肺がん検診周知事業
  - ・ポスター・チラシによる周知
- (3) 低線量CT検診結果追跡事業
  - ・検診データ処理及び解析補助を行う。

### 4 がん検診車整備費補助事業 【健康増進課所管】

25,000 千円（国庫 0 千円，一般 0 千円，特定財源 25,000 千円）

市町村が行う集団検診に使用されるがん検診車を整備する検診機関に対する整備費用の補助を行う。

#### 5 **がん診療施設設備整備事業** 【健康増進課所管】

34,920 千円（国庫 0 千円， 特定 34,920 千円 ）

がんの診断，治療を行うがん診療連携拠点病院等の設備整備に対し，補助を行う。

#### 6 **粒子線乳がん研究支援事業** 【地域医療整備課所管】

466 千円（一般 466 千円）

がん医療水準の向上を図り，本県のがん対策を推進するため，身体的，精神的負担の少ない高度先進医療である粒子線治療による乳がん治療の研究を支援する。

（H27年度で，研究費に対する補助は終了。H28年度は，事務費のみ。）

#### 7 **粒子線がん治療費利子補給事業** 【地域医療整備課所管】

640 千円（一般 640 千円）

がん粒子線治療研究センターで治療を受けるために金融機関から治療費を借り受けた患者等の借り入れの利子分を助成する。

#### 9 **たばこ対策促進事業** 【薬務課所管】

208 千円（国庫 104 千円， 一般 104 千円）

県薬剤師会に委託し，主に中学生を対象にたばこの健康への影響に関する知識についての教育授業を実施する。